

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
安中市	板鼻（板鼻）	令和3年2月17日	令和4年3月28日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	119 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	60.2 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	12 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.2 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.7 ha

2 対象地区の課題

現状で25%の農業者が75歳以上の方が占めていて高齢化が進んでいる。
後継者がいないと思っている方が42%いて、新たな担い手の確保・育成が必要。
有害鳥獣対策についての必要性。耕作放棄地の増加。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新たな担い手の育成や、同地区内の集落の方を中心に、今後の農地集約を考えている。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	果樹 施設花き	2.9 ha	果樹 施設花き	8.5 ha	
認農	B	果樹 稲作	4.9 ha	果樹 稲作	4.9 ha	
認農	C	果樹 稲作	3.1 ha	果樹 稲作	3.2 ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	3人		10.9 ha		16.6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針 (任意記載事項)

アンケートの結果、賃貸借のため、農地バンク（農地中間管理機構）の活用を考えている耕作面積の合計が15haあるため、今後活用の意向のある方へ積極的に制度の周知、活用を推進していく。

担い手が少ない地区であるため、JAなどの関係機関と連携し、新たな担い手の掘り起こしを積極的に進め、参入しやすい環境づくりができるよう努めていく。